



函館と八幡平！ 修学旅行で学ぶ

6月26日（木）～27日（金）の2日間、6年生12名は函館市に行ってきました。修学旅行のめあては、「函館市の文化や歴史、人や観光について学び、考えをまとめよう」「その場にあった行動をして、仲間や周りの人が気持ちよく行動できるようにしよう」「自分でよく考えて（自分・友達・周りの人・関係者など）判断したり、相談したりしながら、適切に行動しよう」「友達と話し合いながら、協力して行動し、友達との仲をさらに深めよう」でした。事前の学習で観光協会の海藤さんから市の観光について学んだり、自分たちのテーマに沿って見学したい場所を選定したりしました。五稜郭や元町付近で異国情緒あふれる建物や函館の歴史について見聞を深めました。また、函館市役所の方から、函館の観光に関わるお話をたくさんお聞きし、自分たちの八幡平市との相違点について考えることもできました。雨模様の時もあり、心配された函館山の夜景も奇跡が起き、目にすることができました。2日目には、函館朝市や函館みらい館を見学しました。特にも朝市では、お店の方々にたくさんのことを教えていただきました。多くの人とかわかることの大切さを感じることができた貴重な2日間となりました。



【旧函館区公会堂前にて】



【函館市の観光を学ぶ】



【朝市にて】



【函館みらい館にて】



【旧函館区公会堂にて】



相撲フェスティバルに向けて 土俵完成！

6月28日（土）保護者の皆様のご協力により土俵づくりを行いました。4名の皆様に参加いただき、お陰様で立派な土俵が出来上がり、7月11日（金）の相撲フェスティバルの土俵が整いました。休日にもかかわらずご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。先週から学校運営協議会長工藤様、PTA 顧問高橋様のご協力のもと、体育の学習を通して相撲に親しむ学習を行っています。

保護者の皆様には、当日の係や会場準備などご協力をいただくこともございます。ご面倒をおかけいたしますが、なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

【土俵整備の様子】



地域に学ぶ

充実の地域学習



6月17日（火）天候に恵まれ1・2年生がひょうたん池まで遠足を行いました。青商会の斎藤様をはじめ、保護者の皆様にもお手伝いをいただきました。地域の自然に触れるだけでなく、アカハライモリの放流をさせていただきました。



【遠足の様子】

【まち歩きの様子】



6月18日（水）4年生がまち歩きを行いました。平舘コミュニティーセンターで避難所のお話を伺ってから、地域の防災について見て回りました。地域を回る際には、消防団の方やCS委員の田村様、安藤様、高橋様にお手伝いいただきました。今後地域の防災について学びを深めてまいります。

最近話題！ 非認知能力？



子どもの力に関わることで、非認知能力という言葉をよく耳にするようになりました。この非認知能力を言い換えると、社会性や情動をコントロールする力となります。幼児期の子どもは、生活上のルールを守ることの大切さを学び、役割意識や協調性が芽生えてきます。小学生になると学校生活を通してクラスでの係やグループ行動などからルールや規範意識がより明確になり、社会の一員としての自覚が芽生えます。社会性の育ちとして、「外面がいい」ということがあります。言葉としてあまりいいイメージがないかもしれませんが、実は大切な社会性ではないでしょうか。子ども達は学校でももちろん頑張っています。人それぞれ頑張り方は違えども気を遣って頑張っているのではないのでしょうか。社会性が育つからこそ将来、円滑なコミュニケーションがとれ、共同して働くこともできるのだと思います。ただ、いつも気を張ってばかりでは疲れてしまいます。ホッと安らぎを覚えるのが、ご家庭ですね。子ども達は、そのような素を出せるご家庭の環境があるからこそ、今の成長があります。保護者の皆様には、日々の環境づくりにご努力いただいていることに感謝申し上げます。ご家庭でこの態度は「どうかな？」と思う時があるかもしれません。もちろん人を傷つけるような態度はその場で伝えるべきですが、外面が努力のたまものであるなら、素を出しているのなら、その様子を受け止めてあげることで次へのエネルギーが溜まり、より社会性が育っていくのかもしれない。

ある日の出来事から・・・

- ある朝のことです。登校途中で四つ葉のクローバーよりも珍しい、六つ葉のクローバーをある子がくれました。珍しいので他の子ども達と、「すごいね」などと話していました。すると、ある子が「校長先生には、きっといいことが6つあります。」とってくれたのです。とてもやる気をもらったような気持ちになりました。もしかすると、その一つが、函館の2日間の天気だったのかもしれない。